

輸出事業計画

※申請者名：尾張製粉株式会社、品目：小麦粉及びミックス粉

1. 輸出における現状と課題

【現状】：当社は2010年から農林水産省や愛知県、経済産業省の補助事業等を通し、海外での展示会や商談会に参加してきた。香港SOGOやニューヨークのメイシーズ、中国上海アピタ等の店舗での実演販売も実施してきた。そうした中でニーズをつかみ、業務用小麦粉の輸出が伸長したが、今後は家庭用ミックス粉の輸出量増加に注力する。販売先は現地ディストリビューターであるが、その先の販路獲得のために現地の流通卸向けにプロモーションを行っていく。さらなる多品種製造に対応するため、またコンタミ防止に向けてより一層生産体制を強化するために製造ラインにも取り組んでいく。

【課題】：今後拡大する家庭向け製パン・製菓用の小麦粉・ミックス粉の需要に対し、迅速に製品を供給できるようにするため、現在の小袋ラインを増設する。既存の2ラインは既にフル稼働に近い状態であり、今後増えるニーズには対応できない。新たな設備として、20パック/分の能力を達成しつつ、輸出重要品目である米粉を使用したミックス粉を筆頭に、多品種製品の製造に迅速に対応できる製品切替が容易なラインを増設する必要がある。諸外国の様々な規制に対応する上で、特に健康被害に繋がると言う点で、アレルギーのコンタミネーション対策は非常に重要である。コンタミを避けつつ、様々なニーズに応え多品種加工をする上で重要なことは製品切り替え時のスムーズさ（清掃の容易な構造、ラインのシンプルさ、部品取り替えの容易な構造）である。現行のラインはその点で劣っている面があり、また製造が手一杯のため少量多品種の製品を加工するのに最適ではない。社内の製品倉庫の稼働率が常に非常に高い水準になっており、特売やコンテナ出荷が重なったときに製品をストックしておく余力が非常に乏しい。プロモーションにおいては、まだ自社製品のPRが既存の輸出国及びベトナム、中国、アメリカにおいて十分でない。

2. 輸出事業計画の取組内容

今後は小麦粉（小袋）・ミックス粉のラインにおいて少量多品種の製品に最適なラインを増設する必要がある。アレルギー対応のコンタミネーション対策は特に重要である。製造ライン増設の際には特にこの点に留意してライン設計を行う必要がある。

今後は特売時等の出荷過多に備えるために、社内において倉庫の新築や、3PLの利用について検討を進める必要がある。

プロモーションにおいては、国内外の外国人バイヤーが集まるような展示会に出展し、バイヤーのリアルな声を拾いつつ改善を進め、商談の機会を増やす。特に輸出重要品目である米粉を使用したミックス粉については重点的にプロモーションを行い、販売拡大を目指す。

輸出事業計画

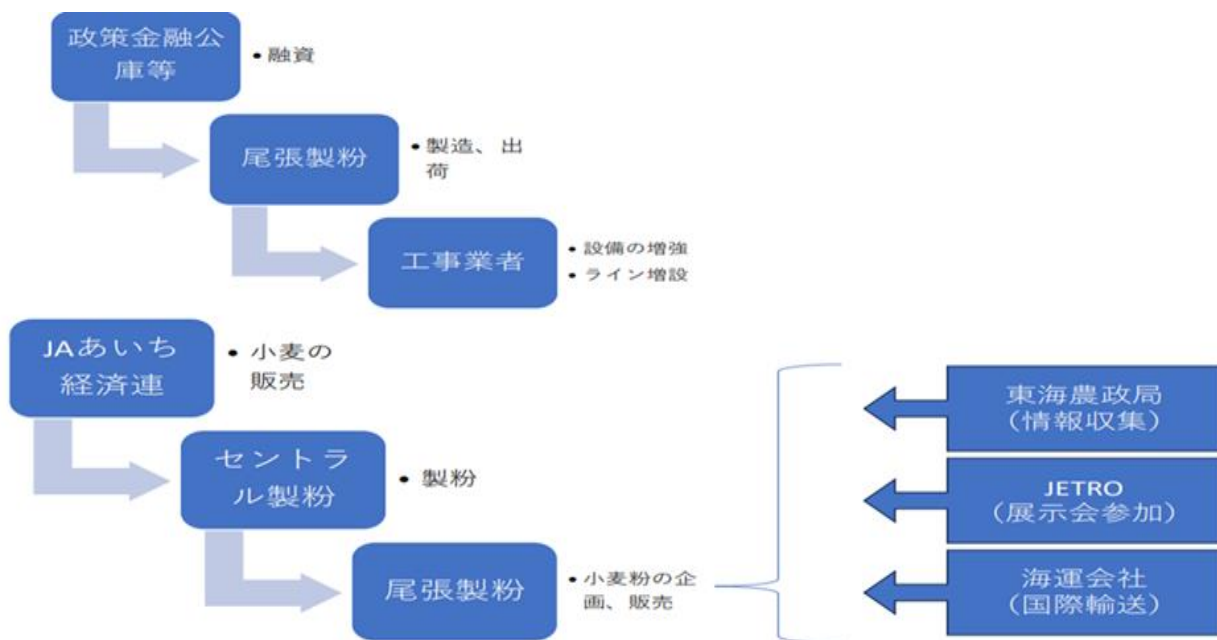
※申請者名：尾張製粉株式会社、品目：小麦粉及びミックス粉

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

PDCAサイクル：

PLAN:企画、開発 DO:展示会や商談会参加

CHECK: 出荷後市場反応確認、修正 ACTION:再度商談、顧客フォローアップ



4. 輸出目標額

(輸出品目：小麦粉、ミックス粉)

		現状 (令和元年度)	目標年 (令和12年度)	備考
半田市	輸出額(千円)	10,833,000	150,000,000	
	輸出量 (kg)	140,000	1,400,000	
	輸出先国	香港	香港、中国、ベトナム、 米国	
	取扱量 (kg)	7,177,000	9,500,000	